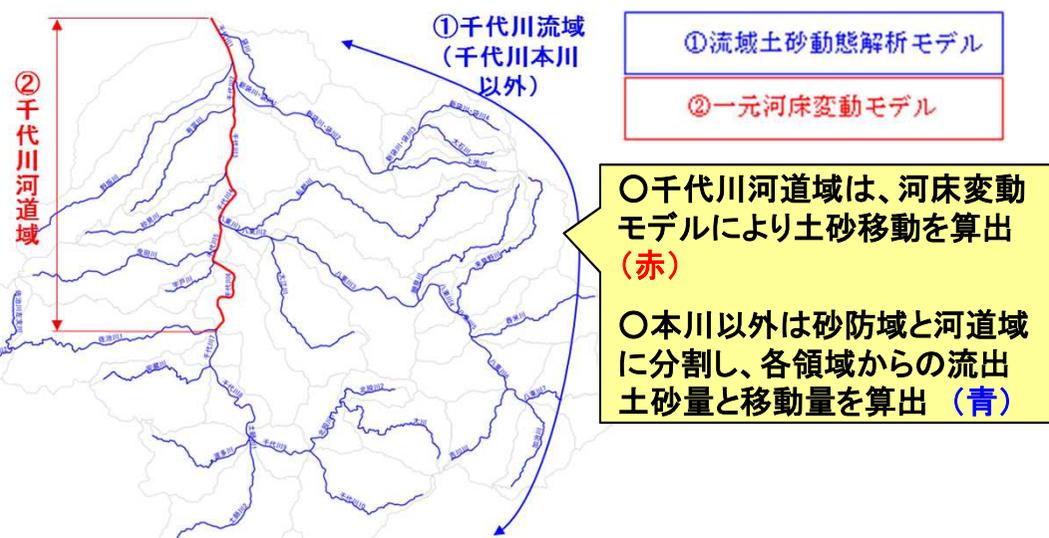


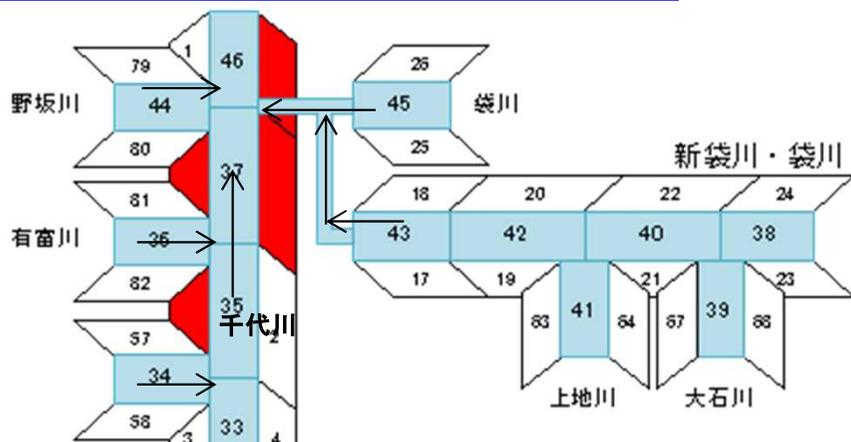
千代川における流砂系の改善に向けた検討（土砂動態検討）

- 千代川上流地区は主に河床掘削が主たる整備内容であることから、整備による影響・効果を検証するためには、現状の流砂量を把握し、将来の流砂量を推定する必要がある。
- 流域の土砂動態を把握するため、土砂動態モデルを構築し、土砂流入量、流出量、土砂移動量を整理する予定。
- モデルの検証を行い、精度を高めるため、モニタリングを実施する予定。

モデルの概要



①千代川流域(千代川本川以外)のモデルイメージ



モニタリング例

【濁度調査】



濁度計

【河床材料平面分布調査】



小型UAVによる写真撮影 (調査が困難な箇所)

【定点写真調査】



定点写真は、固定カメラを設置し、撮影時間間隔を経時変化(数時間)とすることで、先行掘削箇所の洪水時の侵食状況が確認。